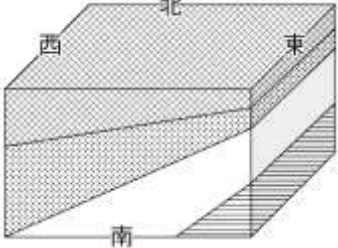


解答プリント「中学1年理科・第2分野」

■発展プリント

単元:9 地層の重なりと過去の様子

【評価の観点】 ㊦：思考・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説								
<p>1 ㊦</p> 	<p>1 C と D のボーリング試料ではほぼちがいがなく、C と D にある赤色の層が A と B では存在しない。このことから、C と D の間では傾いておらず、C・D の層から B, A の層に向かって傾いていると考えられる。これらの考えをもとにして、地層の傾きを図示する。</p>								
<p>2 ㊨ (1) 中生代 ㊦ (2) 昔は海の底であったこと</p>	<p>2 (1)</p> <table border="1" data-bbox="743 725 1465 1066"> <thead> <tr> <th>地質年代 (時代)</th> <th>示準化石 (例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古生代</td> <td>フズリナ・サンヨウチュウ (三葉虫)</td> </tr> <tr> <td>中生代</td> <td>アンモナイト・ティラノサウルス</td> </tr> <tr> <td>新生代</td> <td>ビカリア・ナウマンゾウ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ヒマラヤ山脈は、以前は海底であった地層が押し上げられたもので、海に生息していた生物の化石が発見されている。山頂付近には、イエローバンドと呼ばれるウミユリの化石をふくむ白い帯が見られる。</p>	地質年代 (時代)	示準化石 (例)	古生代	フズリナ・サンヨウチュウ (三葉虫)	中生代	アンモナイト・ティラノサウルス	新生代	ビカリア・ナウマンゾウ
地質年代 (時代)	示準化石 (例)								
古生代	フズリナ・サンヨウチュウ (三葉虫)								
中生代	アンモナイト・ティラノサウルス								
新生代	ビカリア・ナウマンゾウ								
<p>3 ㊦ (1) 火山灰は広い範囲で積もるから ㊦ (2) 海岸から離れた深い海(または沼や湖)の底</p>	<p>3 (1) 噴火した火山の火山灰は広範囲にわたって堆積するため、離れた地域の地層を比較する際の手がかりとなる。大阪平野にも、約 90 万年前に九州で噴火した火山から運ばれてきた火山灰の地層 (アズキ火山灰層) が見られる。 (2) 泥は粒が小さいため、水の流れがおだやかなところに堆積する。そのため、海岸から離れた深い海や沼や湖であったと考えられる。</p>								